



2015～16年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC4月第 4例会 (2016.4.26) No.3132

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

三浦小平二

昭和八年(1933)～平成十八年(2006)

世界遺産・佐渡の金銀山を支えた佐渡市相相川(旧・佐渡郡相川町)で無名異焼、三浦浦小平の長男として誕生。祖父は三代・三浦浦常山という陶芸一家に育った。

初代の祖父・三浦常山(本名・小平次)は名主で、天保七年(1836)、鉾山技師として赴任したイギリス人ガールの接待員となっている。鉾山用達、勸業方心得を務めていた関係で、西洋式機械の導入によって多くの鉾山労働者が失職することを予見し、産業振興の為、常山窯を開窯した。

明治六年(1875)、福島県会津から陶工を招き白磁器に挑戦したものの土の生成が叶わず、あえなく窯を閉じざるを得なかった。明治九年、中国の「宜興窯(ぎこうよう)」と佐渡産の土が同質であることが判明し、明治十一年(1878)、この土を使って軟質であった土を改良の上、硬質の朱紫泥焼(無名異焼)を創始、次第に現在の無名異焼の原型が出来る素地となった。

明治十九年、経営不振のため上京し「台北常山」の号で制作活動を行う一方、挿花点茶の師匠となった。近代化推進のため、我が国を訪れていたドイツ人、ワグネルとも交友を重ね、陶芸の研究と共に産業振興に尽力した。

「常山」は四代で絶えたものの、三代の子、博が三浦家の屋号であった小平を名乗り独立した。小平は画才が豊かで個性的な作品を制作、昭和五年、小平窯を創設している。

小平二は、その長男として誕生、祖父が三代三浦常山という陶芸一家の血筋で、相川では、やはり、人間国宝の伊藤赤水と共に佐渡の焼き物造りの中心的な存在となっている。

青少年期を佐渡で過ごした後、上京し昭和二十六年(1951)、東京芸術大学美術部彫刻科に入学した。当時大学には陶芸部門を扱う部門がなかったため、二年後、陶磁器研究会をつくり、加藤土師萌(はじめ・人間国宝)に師事し、芸術大学最初の窯を築く業績を残している。

卒業後は、一時京都の会社に勤めたほか、岐阜県立多治見陶磁器試験所に研究生となる。その後、かつて自分が創立した大学に戻り学生に技術を教える立場になる。

また、加藤土師萌の下で伝統的な青磁の研修を重ね、次

第に陶芸の魅力を追求するための手法に磨きがかかって行く。

昭和三十九年(1964)、国立に開窯、この頃を契機に一段と青磁に軸足を置くようになる。

昭和四十四年の中近東、東アフリカに取材した頃から純粋な人々の生活に感動し、多くの水彩画やスケッチを残している。

そして、感動的な技術的飛躍に遭遇する。

昭和四十七年(1972)、青磁の解明のため台北の故宫博物院で開催されていた中国の青磁展で、宋代官窯青磁の釉薬と同じ作品が、自身が制作している小鉢の灰釉薬制法がほぼ同質だと判明した。しかし、土が異質だと判かった。それは、自分が作った土が信楽だったが、特別に手にすることができた磁器の土は何と佐渡の土と同じであった。青磁の土を振り出しに戻して再出発する感動の瞬間、小平二は「体が震える」程であったと、その時の気持ちを語っている。

「三浦青磁」の真骨頂は、青磁の世界に独自の工夫、小平二は「オリジナリティ」の極意と表現している技法で、青磁の表面に中近東の「少女」「ラクダ」「植物」「寺院」が鮮やかに描かれていた。

また、青磁の表面にヒビ、貫入が入る花瓶、香炉、壺は、アフリカやシルクロードから導き出された装飾と相まって多くの美術館や愛好家からもてはやされた。

アメリカ・ワシントン自然史博物館、スミソニアン自然史博物館、イギリスのロンドン・ヴィクトリア&アルバート博物館、フランス国立ギメ東洋美術館、韓国・ソウル大学に作品や足跡を残している。

日本国内での個展や工芸展でも多くの業績を残しているが、生まれ故郷の佐渡での愛着もひとしおで、平成八年、母校の佐渡高等学校で行った「私の歩んで来た道 陶芸家三浦小平二」、時代を担う子ども達に、

「物造りの原点は自分しか成しえないもの、つまり、如何に独自なもの、オリジナリティが大切か」を切々と論じた。

平成九年(1997)、青磁で人間国宝に認定された。

妻の竹子は、
「三浦の仕事には、二つのはっきりしたタイプがある。
第一は、厚く青磁釉をくわえることにより、フォルムと彫刻を総合し、彼独自のシンフォニーを創造し、描いているのである。

第二は、表面に描かれた窓絵細密画は色絵でユニークなものになっている。」

そして、小平二は、

「私は砂漠の中に、神秘的な湖、バンディ・アミールを見た。それは青磁が自然の美しさを表現する一つの方法であることを実感した。

・よく見て・集中すること
・大きく・小さなこだわりを捨て全体を大きく見ること

・ごしごし・体を使って努力すること

古典を学び、自然を学び、民俗の歴史を学び、独自の作風を確立するための取材や材料の研究を重ねて来た。この感動や喜びが作品のテーマである。」

と「三浦青磁」を振り返って語っている。

亡くなる直前、最後の個展となった平成十八年秋、新潟三越での際お目に掛り、まだまだ青磁の追求に執念を燃やしていると語ってくれた小平二の優しい眼を忘れることが出来ない。

佐渡で生まれ佐渡の土を生涯大事にした陶芸家、相川に「小さな美術館」を設立。

(3) ビジターの紹介

野沢 慎吾君(新潟東 RC)

(4) 新会員の紹介



清水建設(株)新潟営業所
所 長 清水 康次郎君
ご紹介 石本隆太郎君
所属委員会 ローターアクト委員

この度、石本隆太郎理事様、田中克典様のご推薦を賜り、新潟ロータリークラブに入会させていただきました。清水建設(株)北陸支店 新潟営業所の清水でございます。歴史と伝統のあるロータリークラブへの入会をご承認いただいたことに心より感謝いたします。私は、生まれは兵庫、育ちは横浜、昭和 38 年生まれで 52 歳になりました。昭和 63 年に清水建設に入社し、東京・横浜・名古屋と勤務し、この 4 月より新潟に転勤となりました。初めてのロータリー活動ですが、行動基準をふまえ、ロータリークラブの諸先輩方のご指導ご鞭撻を賜り、奉仕活動をしながらい新しい出会いと社会貢献に取り組んでいきたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

(5) 同好会報告

柴田史郎ゴルフ同好会会長

4月24日日曜日、気持ちの良い春の日差しの中、今年度第一回の新潟RCゴルフ同好会のコンペが行われました。優勝は小飯田澄雄さん、準優勝坂井賢一さん、三位徳永

昭輝さんでした。それぞれおめでとうございます。コンペには23人の参加者が有りました。夜の表彰式兼懇親会は、幹事の吉田さんの紹介による東堀前通り1のイタリアン・イリイで賑やかに行われました。なお当日の会費の一部と競技に伴う「罰金」と合わせて5万1千円を熊本震災の義捐金として拠出しました。近々の予定としては、5月28日(土)には前橋RCのメンバーを迎えて合同懇親コンペ、6月23日(木)は旧新潟市内7RC合同コンペ、6月26日(日)は新潟RCチャリティコンペなどがあります。振るってご参加下さい。ご不明の点は同好会世話人までお問い合わせください。

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(若槻 良宏委員)

小飯田 澄雄君 石本隆太郎君

米山奨学会寄付発表(若杉 武副委員長)

小飯田 澄雄君 石本隆太郎君

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

徳永 昭輝君 小飯田 澄雄君

石本隆太郎君 小林 悟君

(7) ニコニコボックス紹介

・小飯田 澄雄君 4/24(日)に開催されたゴルフ同好会にて優勝する事ができました。当日の天気、9H ペリア特に同伴者(柴田さん、白勢さん)に感謝しニコニコします。

・坂井 賢一君 第1回ゴルフコンペにおきまして高橋 秀松さんの助言のおかげで山田さんベスグロ、徳永先生3位、私、準優勝でした。楽しい1日ありがとうございました。

・石本隆太郎君 8週間ぶりの例会出席となりました。早速ではありますが、清水建設(株)の清水新潟営業所長を新会員として紹介させていただきニコニコさせていただきます。又、先日の私の母の葬儀に際しまして会員の皆様よりご丁寧なるご弔意、ご香資を賜り厚くお礼申し上げます。

・川瀬 正幸君 私は28年度人事で担当部署変更にともない、新たに富山地区も担当となり新潟ロータリークラブを退会させていただくこととなりました。2年1か月と短いあいだではありましたが、皆様からは大変あたたかく接していただき、又、色々とお教えいただきましたこと感謝申し上げます。皆様に直接ご挨拶を申し上げなければならぬところ、熊本地震の関係でこのような形になりました事、誠に申し訳ありません。ロータリーソングもやっとなり慣れた駆け出しロータリアンでしたが、会社内だけでは経験できない大変貴重な体験をさせていただきました。今後の人生におきましても「四つのテスト」をベースに奉仕の精神を忘れず精進してまいります。本当にありがとうございました。皆様のご健勝と新潟ロータリークラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

(8) 幹事報告（細野 義彦副幹事）

- ・例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。
- ・ロータリーレートが5月以降、現行の1ドル116円から110円に変更になります。

(9) 卓話「TPPの概要と活用に向けて」

一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンター

主管研究員 神田 恵氏

(10) 4月26日例会の出席率 73.20 %

会員数100名（出席免除会員 9名）

出席者71名（出席免除会員7名を含む）

(2週間前メイク後 82.61 %)

5月17日の例会予定

卓話「私とキーン先生の出会い」

ドナルドキーンセンター

理事 吉田 真理 氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>